

# 平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち  
 政策目標 2 人・もの・情報がスムーズに流れ、便利なまちに  
 重点的取組 2 公共交通機関を使いやすくする

担当課名	建設部 施設整備課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	07	土木費
	項	02	道路橋りょう費
	目	02	道路橋りょう新設改良費

事業名	<b>大野浦駅周辺道路整備事業</b>	事業開始年度	平成 20 年度
	交通バリアフリー化の推進（JR大野浦駅周辺整備事業）	根拠法令 条例 個別計画等	道路法 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

## 1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	大野浦駅周辺地区の市民 駅利用者 など	J R 大野浦駅を使いやすくするために、駅周辺道路を整備し、駅へのアクセス性、利便性の向上を図る。

## 2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	J R 西日本旅客鉄道株式会社 地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に係る計画，設計，関係機関協議調整，地元関係者説明</li> <li>用地取得，工事発注，現場管理，地元調整</li> <li>施設整備完了後の施設管理</li> </ul>

## 3 平成26年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	○ J R 大野浦駅周辺道路等（駅前広場等）の整備							
	交通結節点の機能強化、駅利用者の利便性の向上を図るため大野浦駅北口の駅前広場を整備する。広場面積は約1,200㎡、広場にはバス、タクシー、障がい者用停車スペース、一般送迎用スペースなどを確保する。また、駅前広場の整備に伴い支障となる J R 大野浦駅の駅舎を橋上化し、その南側へ公衆トイレを設ける。さらに、駅北口広場へのアクセス道路をあわせて整備する。暫定整備している駅南口広場については、自由通路の整備にあわせて整備完了の予定。平成26年度は、J R との協議を進め基本協定等の締結を行い工事委託・補償契約を行う。							
	○ 自由通路の整備							
	駅の南北に分断された地区の連絡強化を図るため自由通路を整備する。延長は約4.2m、幅員は3m、あわせてエレベーター2機を設置する。平成26年度は、J R との協議を進め基本協定等の締結を行い工事委託・補償契約を行う。							
	○ 事業費関連							
	【歳入】							
	社会資本整備総合交付金(道路) 83,600 千円							
	道路整備事業債(合併特例債) 332,400 千円							
	公共施設等整備基金繰入金 18,000 千円							
	【歳出】							
自由通路等詳細設計委託料 62,000 千円								
関係機関協議資料作成業務委託料 1,000 千円								
J R 駅施設補償費 368,000 千円								
J R 関連企業補償費 3,500 千円								
事務費 100 千円								
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算			
	財源内訳	直接事業費 A	9,030,000	8,600,000	434,600,000			
		国庫支出金	4,950,000	3,850,000	83,600,000			
		県支出金						
		借入金(市債)	3,800,000	3,500,000	332,400,000			
		その他(使用料など)			18,000,000			
		市(市税など)	280,000	1,250,000	600,000			
		人件費(按分) B	0.77 人 6,754,440	0.77 人 6,739,040	1.00 人 8,511,000			
		総事業費(A+B)	15,784,440	15,339,040	443,111,000			
	ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人		
②		市民1人当たり	134	130	3,765			
到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動成果	測量・調査・設計の進捗率	%	40	53	53	100	
		基本協定の締結					協定締結	